

新規技術採用の原反・製品の展示も

— 「新生・クラフレックス」の新しいイメージを強調 —

クラレクラフレックス(株)企画管理本部 開発・生産部 部長 新井田 康朗



新井田康朗部長

「新生・クラフレックス」を強調

クラレの不織布事業として1972年に誕生した「クラフレックス」は、30余年にわたり業務用ふきんをはじめとする多くの不織布製品を市場に送り出し、右肩上りの成長を続けてきた。

しかし近い将来、世界の不織布市場に大きな構造変化が予測されることから、同事業は05年4月に分社化・独立して「クラレクラフレックス」として新たなスタートを切ることになった。

ANEX06ではこの「新生・クラフレックス」の新鮮なイメージを打ち出したいと考えている。

クラレがもつ独自の素材に新しい技術を付加した高度化・高付加価値化・差別化をめざす不織布づくりをアピールする。

海外からの来場者も多く来られるANEXの6年ぶりの日本での開催にふさわしい展示内容にしたいと考えている。

環境・安全・健康をキーワードに

具体的な展示内容としては、「環境」「安全」「健康」というキーワードを展示コンセプトに盛り込む。

なかでも環境は、クラレが全社をあげて取り組んでいるテーマでもあるので、われわれもグループの一員として環境に配慮した製品づくりを進めていることを強調したい。

そして、クラレクラフレックスが

このような新しい製品をつくり、どういう方向に向かっているのか、ということを新鮮な印象をもって見て頂けるような、新規技術を採用してつくった原反や製品の展示もしたいと考えている。

中国には負けない技術と品質

日本不織布協会の金井会長が新年賀詞交歓会の挨拶のなかで、「3年前にANEXを開催した中国は、日本の倍以上の不織布を生産するまでに拡大したが、質的には日本がリーダーであることを東京からアピールしたい」という話をされている。

まさにこの通りで、規模では抜か

れたかも知れないが、技術力や品質面ではわれわれの方が中国よりも進んでいることを、ANEX06から世界に向けて発信したいと考えている。

中国の不織布業界から、日本の不織布なんか分かり切っている、と言われられないような、目を引く内容の展示を考えている。

当社は昨年分社化・独立して新しく生まれ変わった。われわれが新しく変わる方向を強調するANEXにしたいと考えている。

(編集部注：クラレクラフレックスの今後の市場戦略などについて、本誌P.38の「企業展望」で紹介しています)

●クラレクラフレックス ホームページを新規公開

クラレクラフレックスでは、分社化・独立に伴い新しくホームページを立ち上げた。

「商品ラインナップ」には、同社が取り扱う以下の商品が紹介されている。衛生ふきん、使い捨てふきん、産業用ワイパー、除菌ワイパー、キッチンペーパー、パレット下敷き、バックヤード用マット、油こし、炊飯紙(シート)、炊飯紙(ガ



衛生ふきん“カウンタークロス”



<http://www.kuraflex.com/>

ゼット袋)、結露防止包材、簡易マスク、防じんマスク(国家検定合格品)、コースター、子供用エプロン、靴磨き、テーブルクロス、青果用下敷き、ガラス・シルバー拭き、シートカバー。

衛生ふきん“カウンタークロス”には、①レーヨン100%不織布の衛生ふきん、②汚れ落ちが良く乾燥が速いのでいつも清潔、③豊富なカラーバリエーションにより使い分けが簡便、などの特長がある。